

学習面も部活動も取り組みやすい環境がしっかりと整えられているのが魅力

Y. K.

立教大学 社会学部 メディア社会学科 進学

国立 茨城大学教育学部附属中学校 卒業

私は新体操をやっている、毎日放課後に練習があったため、他の人と比べると家庭学習の時間を確保しにくかったのですが、毎朝自習室に通い、少ない時間の中で効率よく勉強することができたと思います。また、茨高は先生方が熱心に教えてくださるので、授業をしっかりと聞くことが一番大切だと思います。また、授業で分からなかったところをそのままにしておくと、その先もつまづいてしまうので、その日のうちに復習をして、しっかりと理解しておくことが大切だと感じました。復習だけでなく、予習もしっかりと行うことで、より授業を理解しやすく、頭に入りやすいと思います。さらに、友達と助け合うことも学力を向上させるのに大切だと思います。分からないところは教えてもらったり、友達にわかりやすく教えることで、自分の頭の中も整理されて、より知識が定着します。塾に行った方が良いのか考えたこともありましたが、先生方や友達の支えもあって学校の勉強だけでもしっかりと理解を深めることができました。

私はJRC部に所属していました。被災地を訪れたり、募金活動を行うなど、なかなかできない貴重な経験をすることができました。茨高での行事はどれも大切な思い出ですが、特に思い出深いのが、「文化祭」と「クラスマッチ」です。文化祭では、クラスで案を出し合い、みんなで協力してクラスブースを作り上げることで、クラスの仲が一気に深まり、毎年忘れられない思い出になりました。クラスマッチでは、全員が全力で取り組み、全力で楽しむことができました。応援も含めて、みんなで盛り上がることができ、最高の思い出になりました。行事だけでなく、毎日の生活で、友達と一緒にご飯を食べたり、笑い合ったりして過ごしたことも高校生活の大切な思い出です。

私は、兄が茨高に通っていて、行事も楽しそうだし、何より毎日の生活を楽しんでいる姿を見ていたので、私も茨高に進学したいと思いました。茨高はとにかく、学習面でも部活動でも生徒それぞれが取り組みやすい環境がしっかりと整えられているのが魅力だと思います。高3からは一貫生と同じクラスになり、最初は壁ができてしまうのではないかと不安がありましたが、今では一貫生とも同じクラスで本当に良かったと思える関係を築くことができました。

大学進学後は、現代の社会に欠かせないメディアについて学んでいく中で、様々な事象を探究していきたいと思っています。私はバレエなどの舞台芸術に大きな魅力を感じているので、大学で実践的な発信力を身につけて、それらの魅力をより多くの人に広めていきたいと考えています。また、大学でも新体操を続ける予定なので、今後も学業と部活動を両立して、充実した大学生活を送りたいと思っています。